

## 請願第15号

豊川市民病院への救急搬送アクセス確保のための請願

「スズキ株式会社豊川工場跡地への大規模商業施設誘致について」

### 【請願の趣旨】

平素は医師会事業にご理解をいただきましてありがとうございます。豊川市医師会は市民の健康・生命を守るべく日夜、会員医療機関と共に活動していますが、今、市民の生命、健康にかかわる憂慮すべきことが起ころうとしています。

それが、豊川市民病院の隣接地であるスズキ株式会社豊川工場跡地への大規模商業施設誘致問題です。

山脇実市長初当選時の市長選挙における最大の争点が、豊川市民病院の新築移転問題であったことは、豊川市民周知の事実です。より良い環境や立地条件を求めて、スズキ株式会社のご理解のもと、豊川工場の一部の土地を譲り受け、移転新築することができました。

しかし、今回、スズキ株式会社豊川工場全面撤退にあたり、豊川市は、工業専用地域から商業地域に用途変更を認め、大規模商業施設を誘致しようとしています。

豊川市消防本部編集の平成29年救急救助年報によると、平成29年の豊川市内の年間救急搬送人員は7,317人で前年より234人増加、そのうち死亡搬送は169人、重傷者搬送は192人、中等症者搬送は2,449人です。年間救急搬送人員のうち81.0%は豊川市民病院へ救急搬送されています。（この他、新城市等から年間1,000人程度の救急患者受け入れあり）特に土日祝日は、ほとんど豊川市民病院が2次救急受け入れを担っています。

平成29年に救急搬送された心肺機能停止傷病者187人のうち、助かって社会復帰できたのは7人でした。

豊川市の現場到着所要時間は平均8.9分（平成28年県平均7.7分）、病院収容時間は平均33.8分（平成28年県平均32.4分）です。

豊川市消防本部は救急車の適正配置、速やかな救急搬送と心肺蘇生、救急救命士の100%同乗、市民への心肺蘇生法やAEDの普及活動等活動され、豊川市民病院も救急センターの創設、救急患者受け入れの強化を行っていますが、現状でも渋滞等の影響により、他市に比べて救急搬送がスムーズに行われているとは言

えない状況です。国道23号線バイパスが開通すれば、今よりも国道1号線の渋滞は緩和されるでしょうが、今回の豊川市民病院隣接地への大型商業施設誘致は渋滞の原因を新たに生じさせることになりかねません。

豊川市医師会も豊川市民病院以外の会員医療機関による年間約1,000人（新城市等からの救急患者受け入れ含む）の救急患者受け入れや、速やかな救急搬送への協力と豊川市休日夜間急病診療所の運営委託、外科系当番医制度等救急活動を推進してきました。これは全て、市民の健康や生命を守るためです。

今回のスズキ株式会社豊川工場跡地への大規模商業施設誘致は国道1号線や姫街道の渋滞をさらに悪化させ、救急車の現場到着所要時間や病院収容所要時間をさらに延長させるものです。

#### 【請願事項】

- 1 豊川市民の健康・生命を守るために、豊川市民病院への救急搬送アクセスを確保していただきたく、ここに請願いたします。